

## にぎわいまち公社では

- まちづくり活動のお手伝いをします  
—まちづくり団体が開催するイベントのサポートなど
- まちづくりに関する調査研究と情報の提供をします  
—まちづくりに関する講演会等の開催、情報誌発行など
- 中心市街地活性化事業に関するお手伝いをします

## 平成15年度の事業

- 商業ベンチャー支援事業
- タウンウォッチングの開催
- まちづくり専門家の派遣・まちづくり相談
- 再開発関係団体等への活動助成
- まちづくり情報誌・パンフレットの発行
- 市営駐車場の管理

## 明けましておめでとうございます。

理事長 藤田 大二郎

皆様には2004年を新たな希望をもって迎えられたことと思います。

昨年あたりから景気回復の兆しが伝えられていますが、まだまだ厳しい状況にあり、更なるまちの活性化が望まれています。

このような状況の中で、本市のまちづくりも市民主体のまちづくり意識が高まり、岐阜市では今年度「協働のまちづくり指針」の策定作業が進められているところです。

にぎわいまち公社も発足以来9か月を経過し、市民に身近な中間支援組織として気軽に活用していただけるよう各種事業をとおしてPRを行ってまいりました。

本年度のにぎわいまち公社事業としましては、まちづくり啓発としての2回のタウンウォッチングをはじめ、まちづくり

アドバイザー派遣も延べ20人を派遣いたしました。その他、まちづくり活動団体への助成、まちづくりに関する調査の実施等市民の皆様のまちづくりのサポートを行うとともに、中心市街地活性化事業につきましても空き店舗対策として8月16日に「柳ヶ瀬チャレンジショップ」をオープンし、出店している10店舗のチャレンジャーが平成16年4月以降の独立開業に向けて店舗を営業しながら経営ノウハウを学んでいます。また、市営駐車場につきましても7月から更なる利用を図るため、利用料金の値下げを行ってまいりました。

以上の事業のほか、情報の提供や各まちづくり団体との交流などを積極的に行う中で、にぎわいまち公社の認識が深まっていると感じています。

新たな年を迎え、市民に身近なまちづくりの支援組織として気軽に利用していただき、市民と協働のまちづくりを推進するため、職員一同更なるステップアップを図ってまいります。

## まちづくり市民グループの紹介コーナー

### ● 第2回 岐阜まちづくりネットワーク

代表 廣瀬 康之

#### ■ 設立の経緯と目的

「岐阜のまちを一層夢がふくらみ、楽しく住みやすいまちにしたい!」という思いから、岐阜市の市政について勉強し行政に一般質問をする青年評議会OBや岐阜市青少年会館サークル連絡協議会の青年たちが中心となり発足しました。

行政と市民(やる気のある青年を中心)との協働関係を築く新しいタイプの組織です。岐阜市を拠点としていますが活動範囲や構成員は近隣の県外にまで及んでいます。

#### ■ 活動内容

まちづくりに関する団体・個人とのネットワークを拡げようと、自主事業として、外からの視点で自分たちのまちを見直す視察・交流・研修会、講習会、

フォーラム、街めぐり、スキー・カヌー・ヨットなどのアウトドア研修、バリアフリー検証、IT講習会、ITによるまちづくりへの提案、アンケート調査などを行っています。また交流会やセミナーなど他の組織へのネットワーク・サポートを行っています。

#### ■ 自分たちのまちのことを知っていますか?

意外とそうでない場合が多いようです。活動すればするほど、新たな発見があります。まちのことをまず知り、そして自分たちで何が出来るかを考え、そして次の行動を共に起こしていきましょう。

#### ■ 興味のある方はこちらまで(公社でも可)

郵便:500-8804 岐阜市京町3-19  
岐阜市中央青少年会館内  
電子メール: [machi@hatelecom.or.jp](mailto:machi@hatelecom.or.jp)  
ホームページ: [www.hatelecom.or.jp/machi/](http://www.hatelecom.or.jp/machi/)  
TEL: 058-266-5134 FAX: 058-265-5732

第3回は「Gネット」です。ご期待ください。

# 第3回ボランティア 産直市場に参加



事業概要を説明する担当者

平成15年11月24日(祝)カラフルタウン岐阜「太陽の広場」で岐阜県NPOセンター主催のボランティア産直市場が開催され、にぎわいまち公社を含め39団体の参加がありました。カラフルタウンの買い物客も入り混じって盛大に開催され、サンライズ横丁のビデオ紹介のほか、ブースでは公社の事業・活動等の紹介を行いました。

## 全国都市再生モデル調査について

昨年7月に内閣官房都市再生本部から「身の回り」の生活の質の向上や「地域経済・社会」の活性化を目的として「全国都市再生モデル調査」の提案募集があり、岐阜市とにぎわいまち公社が連名で「金華山・長良川まるごと博物館」をテーマとして調査提案をしました。

全国各地で行われている先導的な都市再生活動として644件の提案中171件が調査対象として選定され、本市の提案もその一つに選ばれ、国からの委託によりにぎわいまち公社が調査を行うものです。

調査内容は、金華山・長良川周辺地域を自然・文化・歴史資源を活用しテーマ性のあるエコミュージアムとして保全、再生、整備を行い、滞在型観光拠点とするため、その資源の活用方法、整備のあり方を市民・行政協働で実験を行い検討するもので、観覧船を使った運行実験や歴史的街並みを残す地区での交通対策実験を行います。

## ～投稿～

### 「タイ、タラ、レバー」はお好きですか？

ぎふまちづくり団体交流会代表  
松尾 一(まつお いち)

退屈していたある会合で、隣の席の人に、書類の裏面に「タイ、タラ、レバーに共通するものは何？」という問題を出したところ、即座に「語尾に付く」という解答が戻ってきた。思わず赤ペンで「100点」と書き、下に勢いよく2本線を引いてしまった。やっぱり、隣の人は良くできると改めて尊敬してしまった。

さて、このタイ、タラ、レバーは、鯛・鱈・肝臓の類ではない。「そうやリタイ」「やっタラどうですか?」「やレバー?」と、よく会合などで聞く言葉なのである。発音を良く聞くと、意見や批判は立派で提言らしくも聞こえるが、ある面では言い放しで、無責任発言に感じてしまうこともある。

こんな類似する言葉は、例えば、甘えた声の味のキノコ類「シテホシイダケ」、底に穴が開いたヤカンの親戚で人の意見の足を引っ張る「アカン」、無責任で干からびたレバーを揚げた「アゲレバー」、他人事のようなカスカス味

の梨「イイッパナシ」、強欲な前世紀の乾飯「ホシイイ」、希望の色が永遠に着かない紅「ヤツテクレナイ」と、言葉遊びのようにいろいろと浮かぶ。

もっともどんな会合でも、これらの言葉が多く出る場面から始まるのが普通である。現状を知るのに重要な批判や提言が含まれる場合がほとんどであるからである。

しかし、まちづくりに関しては、これだけでは堂々巡りをするだけで、特に行動を伴う場合はそれだけでは通用しない。現実に行動となった時、「タラ、タイ」などと堂々と素晴らしい意見を言う人の中には、「行政がヤツテクレナイと…」と、とたんに、尻込みをしてしまう場合がよく見受けられる。

まちづくりは、「ユウ(湯)」ばかりではなく「やりマス(鱈)」と言って、たとえ100円いや1円でもいい、お金や身体・知恵を持ち寄り、無い物はお互いにフォローしながら、適宜、行政と一体になって進めていくことが必要だと思うのである。

鱈や鯛、レバーを食べてしまい、旨い酒を飲みながらでもいい、まちづくりは「動かないと始まらない」のである。

## まちづくりアドバイザーの活用状況

[平成15年12月現在]

活用団体	分野	回数
景観形成市民団体 2団体	まちづくり計画	12回
再開発準備団体 1団体	市街地再開発	6回
中心商業活性化団体 1団体	税務	2回

## まちづくりセンター情報

1月 8日(木)	ワーク:一円一縁起業家研究会
1月13日(火)	サロン:子育て支援 サロン:都市景観を考える
1月14日(水)	サロン:おしゃべりサロン
1月15日(木)	サロン:まちづくり団体交流会
1月20日(火)	サロン:これからの里山活動 ワーク:岐阜市の総合計画
1月21日(水)	サロン:ITS懇談会
1月27日(火)	サロン:市民と行政の役割分担

## 事務局だより

●まち公社に、12月から新人専門員が活躍中。平工 真(ひらくまこと)さん51歳。これからの活躍が楽しみです。



●新しい申年を迎え、4月から進めてきた「まちづくり事業」もあと3か月で初年度が終了。まだまだ、社会実験など主要な事

業も残っており、気を緩めることはできない。  
●2月の毎週土・日曜日は、観覧船による遊覧実験を行います。多くの方の乗船をお待ちしています。